THE WOMAN'S WEEKLY

第貳巻　第二十二號

每週金曜日發行

大正五年五月廿六日發行

大正四年十二月四日第三種郵便物認可

婦人週報

定價一部四錢五厘

郵送料五厘

本號目次

□都會と田舍……小橋三四子
□時事週評
□近く來朝せらるゝタゴール氏の思想……安倍能成
□一人一評──入澤常子……冬湖
□眞の婦人が男子の傍らに立つ時
□廓より尼寺に（上）……白井生
□滿洲名物
□名士と其の母＝三宅雄次郎氏……安中花子
□短歌「夏」……てい子
□病難錄（三）……薄田斬雲
□弓術の奬勵……民子
□牛に守して貫つた私……千葉晩香
□金魚の飼方
□一圓で四人のお客を招く時……櫻井ちか子
□端錢の貯金が數百圓に上る
□世界史お伽譚「天下最も不幸の人」……斬雲
□小說「地下室の窓から」……松本雲舟
□時事……公娼廢止運動費寄附金……編輯だより

婦人週報社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

皆様が白粉をつけて快感を覺えるのは皮相の快樂であります
本叢書を讀んで感ずる快樂は精神的の愉快です本日直ちにお讀みなさい

白粉壹瓶＝通俗叢書壹冊

笹川臨風編輯
博士學士專門
名家分擔執筆
主幹日向甲

通俗叢書
會員募集

笑ひたく泣きたく嬉しがりたき喜びたき方は此本を御覧なさい

通俗教育叢書第一編 **赤穗誠忠錄** 上下全二冊 定價四圓五十錢 特別割引頒布價格 金貳圓九拾錢

通俗教育叢書第二編 **古今孝子錄** 全一冊 定價金參圓 特別割引頒布價格 金壹圓八拾錢

通俗教育叢書第三編 **豐公英雄錄** 全一冊 定價金參圓 特別割引頒布價格 金壹圓八拾錢

通俗教育叢書第四編 **古今義人錄** 全一冊 定價金參圓 特別割引頒布價格 金壹圓八拾錢

見本規定進呈（郵稅貳錢）

第十五編出來（全二十四冊）
毎月會費僅に八十錢
會員特典 書棚無代進呈
社會各方面の家庭より
入會申込日々激甚なり

東京麴町區飯田町
通俗教育普及會
番町七九二・東京振替二五五〇三

通俗叢書收容書名

古事記物語
源氏物語
平家物語
太平記物語
曾我物語 義經記
椿說弓張月
里見八犬傳
太閤記
心學道話
謡曲物語
淨瑠璃物語
近松名作物語

日本物と西洋物とを別々に申込むことが出來ます

通俗叢書收容書名

イリアッド物語
オデイセー物語
アラビヤンナイト物語
ドンキホーテ物語
ロビンソンクルーソー物語
プリユーターク英雄傳
スマイルス自助論
グリム童話
アンデルセン童話
シエクピヤ物語
モントクリスト物語
シャロックホルムス物語

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

都會と田舍

□僻村に居て

一昨年の歐州戰亂が初まつた頃、私は富岳の下の一僻村に避暑して居りましたが、一日後れに都から送つて來る新聞に一號や初號の見出しで、戰報が掲載され紙面は俄かに一大飛躍を試み初めたにも拘らず、靜かな自然の懷に、溶け合つた心には、その記事が丁度淺瀨の荒浪のやうに、特別の興味を惹かないのみか、何となく醜い影を見るやうに厭はしくさへ思ひました。そして人間の空騷ぎの底深く一條の流れが横つて居つて、其處に靜かにさをさして、眞直に志す岸に辿つて行つたら、定めし心地よい事でせうと考へました。

□一日の應接間に來る客

この考へは世の奮闘に疲れた心身が、休息を欲した一時の感じに過ぎず、程なくその單調と寂寞とに堪へずして、都戀しくなつたかも知れません。またかくして世の波動を遠ざかつて、浦島の子のやうに時勢後れになつて終ふのかも知れませんが、とにかく都會の生活は、人の一生を無駄遣ひさせる誘惑が多々あります。一日の應接間に來る客の中にも、一夫一婦を主張して其の法律を改正せんと努力する者もあれば、自由戀愛を稱へてこれを實行して居る者もあり、基教に從ふ者もあれば、佛道に身を捧げんと云ふ者もあり、中には全く思想上の問題などを念頭に置かぬ拜金主義者もあります。

□所謂都會の人情

時々刻々に人と思想の變化に包まるゝ身は、居ながらにして文明の潮流に浸る幸福者のやうですが、かうしていつしか耳邊を通り越す聲の刺戟に逐はるゝに忙しくして、その眞相を究むる事さへしないで過すかも知れません。延いて其の生活も人と人との調和を計る爲めに、勞力や金錢を費すので、眞に自ら養ふ努力を忘れ、遂に輕薄な所謂「都會の人情」を釀すに至りませう。書店の經驗を聞いても、東京は極めて輕いもの、外歡迎されず、圖書購買力に於ては、遙かに關西に及ばぬと申します。

□空騷ぎの中に出來る人生

相場の立合と云ふ事を見た者は、騷ぎの中に、人氣が立ち、人の生活を支配して行く大切な相場が定まつて行く事を知るでせう。田舍の人には、また都會の空騷ぎが、人生の相場を定める、案外な力を持つて居ることを忘られたくないと思ひます。誠に騷ぎの中に世は形成られて行くとでも申しませうか、空浪のやうな騷々しさの中に、聞き逃してはならぬ事が澤山にあります。

□偏屈早老の醜い姿

タゴールの來朝が近いと云つて、俄かに其の説に親しむ者を笑ふは、偏屈な島國根性の仕業であります。スミスの宙返りを見て、何の感興も起らぬなどゝ、有頂天になつて居る群衆の熱を冷ます人などは、早老の東洋氣質であります。人と共に談笑し、衆と共に歩む事の出來ない人は、片輪な人生の牢獄に幽閉されたる哀れなものであります。都會生活の辛酸を逃れて、餘裕ある農村に赴いて、これ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

から眞の進歩をするであらうと期待した人が、幾何もなく、慘めな退歩の姿となるのも、多くは斯樣な性情によつて、世間と絶緣して終うからであります。

口太陽を慕ふ草木の樣に

都會に居ても田舍に居つても、常に進んで止まぬ人となるのは、實に難事であります。然し固陋な人間となつて世に住むならば、たゞ快活に食ひ、繁殖し、死んで行く動物の方が餘程賢くあります。人間ならば、單に衣食し、子孫を遺す以上に智識や精神の生活がなくてはなりません。此の生活に遲れて行く事は、人間を動物に迄墮落せしむるものであります。そして都會の文化の中心に居て、周圍から有り餘る刺戟を受けて居る者も、田舍に居て、自然が齎らす大なる教訓や恩惠に浴して居る者も、常に我が智識の展開に努力しない者は、落伍者の群れに陷ることを免れませぬ。即ち常に小學生徒のやうに、心を幼く新鮮にして、何事にも驚きや興味を感じて、怠らず學んで行けば、いつも其の心は太陽を慕ふ草木のやうに延々と育つて行くことが出來ませう。（三四子）

時事週評

二

▲彈事件の公判　この廿二日から大隈首相を狙撃した爆彈事件の公判が開かれました。事件の内容は次第に大きくなるやうです。要撃の的となつたのは大隈首相一人ではないらしい。かういふ思想やそれに伴ふ實行が今日の日本にもまだ斷絶しない事はいかにも苦々しい事です。其の企ての芝居がゝつてゐる所、即ち爆彈狙撃の方が暗殺よりも華々しいなどゝ陳述してゐる所を見ると、被告等の不眞面目な所がわかります。若し或る人を暗殺する事が眞に國家に利益だといふ沈痛な志があらば、其方法などを選んでゐる閑はないでせう。天誅組とかいふやうなつまらぬ名をつけて騒ぎまはるは、其人々の人物の下等な事も解ります。眞に國家を憂うる者はもつと眞劍な考を持つので、當路の者を暗殺しやうなどいふことは思ひ浮ばぬ筈です。かういふ危險思想が一般青年に傳染しては大變だと思ひます。こんなつまらぬ人達に重刑に處するだけの値らない筈ですが、さりとて、寛に失して、これに眞似る者の輩出するやうな事があつてはなりません。判官達の判決は一寸見物でせう。

▲大相撲の教訓　今や夏場所の大相撲に滿都の人氣を湧かしてゐます。實力の競爭、これが相撲から獲る唯一の教訓です。日本の婦人が今まで男から虐たげられてゐたのは、實力がなかつたからです。いな實力を養ふ機會と手段を奪はれてゐたからです。唯良妻賢母で、おとなしくなる事をのみ、强制されてゐたからです。實力のある女は、昔でも今でも尊ばれてゐるのを見れば、其事は直ぐ解ります　其故女の地位を高めるには、唯實力を養ふよりほかに手段のないことは、國技舘の相撲と同樣です。實力のない者を尊敬せよといつた所で、一時は出來ない事はありませんが、永い間には六ケ敷くなります。男の壓迫を遁れ男から解放されるには、唯女の實力養成のみです。實力養成といつても、何にも男と喧嘩腰になる必要もなく、又男と同樣に酒を飲んだり、道樂をしたりするには及ばぬ事は勿論です。國技舘の相撲ほど、現在の日本婦人に適切な教訓はありません。

▲露國の新大使來る　露國大使クルペンスキー氏來る。氏は支那通を以て知られた人ださうです。支那問題について、日露提携せねばならぬ事の多い今日、氏の來朝に甚だ有意義と思はれます。日露兩國が氏を通して益々親善となることは、日本人民の大に望む所です。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

近く來朝せらるゝ

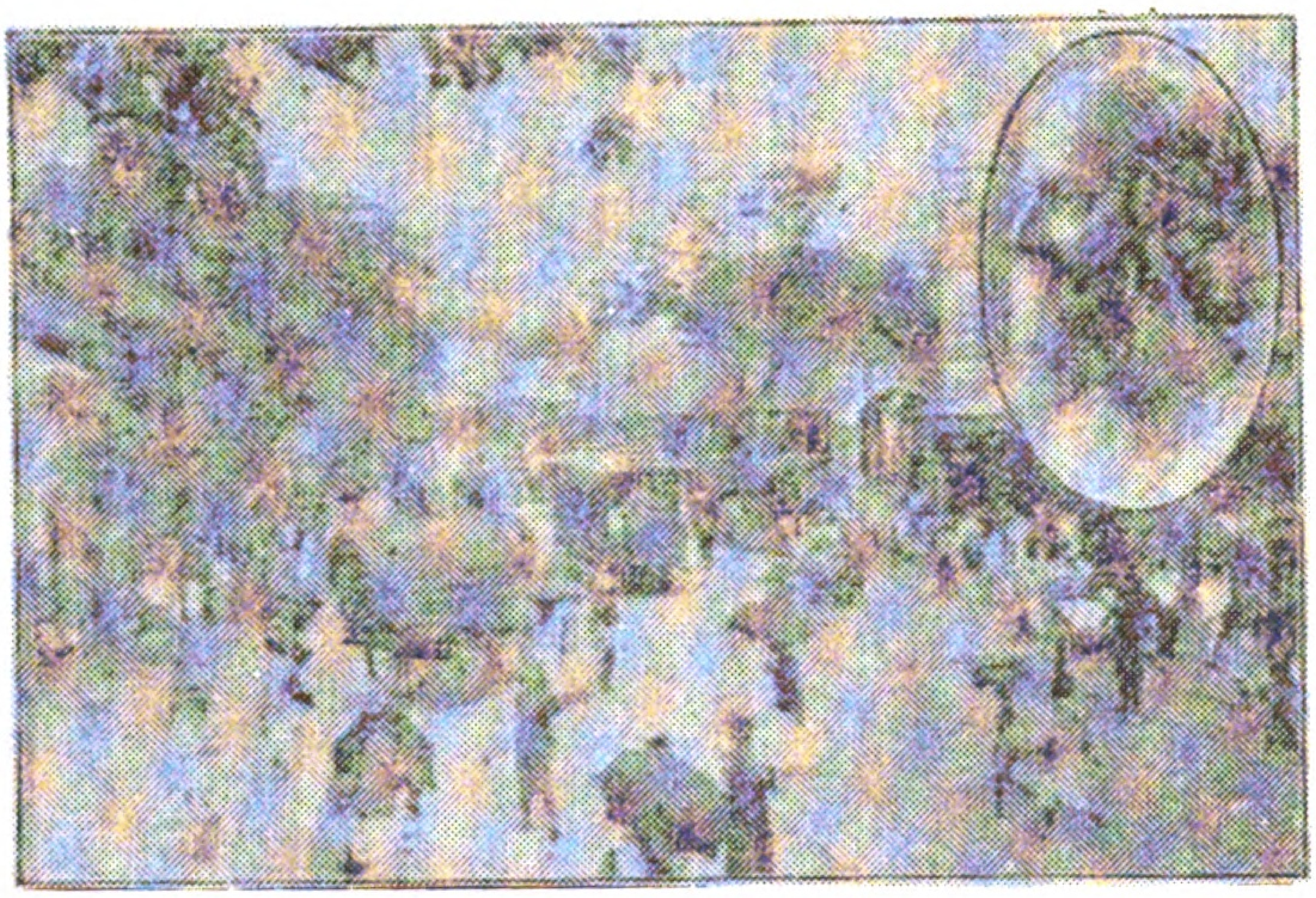
タゴール氏の思想

文學士　安倍能成

□今の渡來は時を得たもの

獨逸のオイケン氏は戰爭前に來朝と定まつて非常な評判となりましたが、戰爭の爲に來なくなつて、もう何ともいふ人がなくなつた。タゴール氏も來る來るといはれながら、一向來ない內にいつの間にやら評判もなくなりました。然し靜寂を愛してお祭騷ぎを好まないといふこの詩人に取つては、今日の渡來は恐らく寧ろ時を得たものといつてよいでせう。かうした思想家とか詩人とかのことが、世間話にまで上る樣になつたのは、日本の文明の進步の一端でせうけれども、この流行より更に意義ある收穫を得る樣にならねば、要するに、此等の人々も自稱知識階級の人々に、世間話の種を提供したといふだけで、歸つてしまふだらうと思ひます。

□思想を覗ふだけならば



印度の風物とタゴール氏

私はタゴールのものといつては、「一生の實現」を讀んだゞけです。然し此人の思想を覗ふだけならば、これだけで不足はあるまいと思ひます。詩人として又文學者としてのタゴールを覗ふには、氏の作や劇も日本語に譯せられて居る樣ですし、其等について直接にお讀になることをお薦めします。

□彼の思想は要するに

タゴールの思想は別に我々に取つて新しい思想ではありません。然し此事は何もタゴールの價値に累することではありません。彼の思想は要するに佛敎其他印度思想に著しい汎神論的の思想だといへばそれまでゝすが、然し彼の說方の清新なのと熱に富んで居ることは、この古き思想をも新しく我々に鼓吹する所があります。彼の取扱つて居る根本問題は總ての哲學や宗敎の根本問題なる、普遍と個體、一と多、大我と小我との關係です。我々人間は有限な者であるけれども、有限の姿は終極ではない。無限の一部分をなせる有限である。無限大海中の一波である。一波ではあるがそれは無限大海の力の現れである。我々の生活は自分と別なものとの戰では無て、自分の根本で

三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

四

あるこの宇宙の無限の生命を實現することである。この融通無碍の働は小我を終極として自ら限ることによつて妨げられる。これは即ち我々の無智であり、無明である。總ての惡や罪や不幸の原因はこゝにある。自己の小を自覺し、しかもその小なる自己が無限の生命を宿し得るものであるといふ點に、自己の偉大を體認することによつて、我々は心からの謙遜を得ると共に、暗き絶望に陷らずして、限なき光明に浴することが出來る。と彼は說いて居ます。

□無限の生命の働は即ち愛

タゴールはこの無限の生命の働は即ち愛である。愛なるが故にそれは强ひられた律法的のものでなく、自由な自發的なものである。從つて其生命に生きる、即ち其生命を實現する我々の生活も亦愛の生活でなければならぬといふことを力說して居ます。タゴールに從へば宇宙に存在する自然法は、決してこの無限な愛の力を束縛する者ではない、否この無限の力が實現せられんとして取つた形が法則である。無限の生命は勝手氣儘な突拍子もないものではない。然しそれはその法則の中に流動と自由とを失はない。人間の總ての活動もこゝに至らねばならない。例へば舞踊の名手は、さす手引く手が一々法則に協つて居て、而かも法則に束縛せられたぎごちなさがない、(これはタゴール自身の擧げた例ではありません)。法則の中にあつて法則を超越せる所に、藝術の妙趣がある。人間の道德的行爲もこゝに至らねばならぬとタゴールは說いて居ます。

□思想家としての一大缺點

タゴールに取つて解脫の道は即ち小我の限界を自覺して、大我の無限生命に融合するにあります。この關係を如何に考ふべきかについては、タゴールの考は十分に突きつめた深い所が乏しい樣に思はれます。思想家としてタゴールの思索力の根强くない所は大缺點であります。タゴールは寧ろ詩人的の直觀を以て、無限の生命の姿を思ひ浮べ、それを觀ずることによつて大我と小我との融會已に成れりと想つて居る樣な處があります。彼は矛盾を見ずして調和を見、暗黒を見ずして光明を見んとするに急いで居る樣です。私は彼のこの調和が多くの矛盾を貫いで來たものであり、彼の光明が暗黒に苦んで來たものだといふことを今一層思はせる樣な所があつたならば、彼の思想は一層力强かつたらうと思ひます。彼は一と多との關係について深く思索せんとする者、愛と利己とに苦める者に對して、まだ十分の解決を與へ得ない樣に思はれます。

□譬喩の極めて巧みなる事

終に一寸一言したいのは、タゴールが極めて譬喩に巧であつて、これによつて讀む人の興味を刺戟すると共に、又暗示を與へることが多いといふことです。子供が倒れて怪我するからといつて、子供を立たしめるもののその同じ地であることを忘れてはならないといふ樣な巧なそして又美しい譬喩は彼の文章の到處に見出されます。私は日本の自然のこの詩人に好印象を殘さんことを祈つて、筆を止めませう。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

眞の婦人が男子の傍に立つ時

暗黒は忽ち消え去らん

（上）

「紐育インデイペンデント」の記者ドッチ氏が佛蘭西のマルセーユに負傷兵の到着した樣子を語つた中に、かういふ物語があります。「此處から各地方に送らるゝ負傷兵等は、行列を作つて入り込んで來ました。足の無い者、手を失つた者が續々見えると、最後に盲目の一隊が參りました。迎へる人々は何れも沈默して道を開いて待ち受けて居りますと、彼れ等は手さぐり、足さぐりして、恐々と歩いて來ました。と見る間に、列の最後にまだ丁年にも滿たない美しい青年軍曹が居りました。金髮の前髮は眼にかけた黑の繃帶で無雜作に後ろに押しやられ、赤い帽を曲げて冠つて居り、その右袖はぶわ〳〵と空になつて居ります。胸間にはリージョン勳章が燦爛と輝いて居るもの、頭から爪先迄ぶる〳〵と慄えて「恐しい〳〵」と繰り返して居りました。佛蘭西は與へる丈けの名譽を與へたでせうが、彼は暗黑の恐れをどうする事も出來ませんでした。

　忽ちこの恐れと悲しみの光景を一轉させて、崇高にした一つの事實が起りました。此の時群衆の中から一人の少女が走り出て、この青年の傍らに寄り添ふと見る間に、腰の周圍に腕を廻はし、手を確乎と掴みました。少女はまだ二八を過ぎぬ淺黑な希臘式の美はしい面立で、この日田舍から荷物を運んで來たらしうございました。

　少女は靜かな聲で「しつかりなさい、曹長殿、私が御一緒に歩みませう」と申しました。觀衆は云はず語らずの中に傍らに寄つて敬意を表しました（七頁に續く）

（一人一評）

入澤常子

◎晶子の近業『人及び女として』の一節に醫學博士入澤達吉氏夫人常子のことを『…夫人は自分の力で國を富ますことは出來ないけれど、せめて國民の節儉を計りたいと云つて僅かの尺で足る女帶を工夫したり、狹くて便利な臺所を工夫したり、いろ〳〵の考案を實行してゐる人である』と記してゐる。

◎入澤夫人の名は、新樣式の子供服裝を作つた婦人として、世間に記憶せられ、新しく家庭に種々の經濟的設備を試み、又は試みられやうとした處、最も能く意見を持ち、又發表される方である。その工夫、考案が果して新時代の家庭に恰好のものゝみであるか知らぬ。併し我が國の女性には珍らしい數理的の頭腦の所有者としての常子夫人が達吉博士に受けた科學的の知識に考へた其の家庭生活改良の意見は、確かに耳を傾けるべきものであり、つゆ程も粗漏の譏を受くべきものでない。

◎唯だ漫然として今日主義を信奉してゐる我が婦人達は、深く常子夫人に聽く處があつて宜しいと思ふ。而して因襲は捕はれた其の生活から日一日も速かに目醒めねばならぬ。

◎かくして我が婦人が數理的に、經濟的に、その家庭を宰する時は必ず冗費を除き、少額の金錢を以つて裕かの生活も營まれることになるであらう。が徒に女性の數理的に物を考案、工夫する結果は、往々に、角を矯めて牛を殺すことになる、かの女學生の服裝問題の如きは、この弊を暴露したものであらう。世の中の婦人達は常子夫人の意見を聽いて――此の令夫人が躬らを流行の圏内に置く美しい身嗜に考へればならぬ。

（冬湖）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

廓より尼寺に（上）

運命の飜弄を逃れて悟に入つた女の身上

□法衣の袖に包む思ひ出

一夜の夢を結ぶにも枕より枕に移るやうな神經の痲痺した遊女の生活を逃れて全く行すましてゐる道心堅固な尼僧があります。彼女は今年二十五歳、墮落し切つた世界から、光りを求めて新らたな生活を始めるまでには、幾多の波瀾曲折を經てゐることでせう。墨染の法衣の袖に秘められてゐる生々しい思ひ出には、遊女の常と罵り去り得ぬ眞實の光りの閃きが見られます。

□彼女の詫しき生ひ立ち

彼女の生れたのは遠い西の國の水清らかな山里であります。花に紅葉に、幾年かの平和な春秋はこの家を靜かに音信れて居りましたが、好事魔多き譬ひに洩れず、ふとした病が原因となりて、母は彼女の美しい黑髮をなでながら、眠つて了ひました。泣けど叫べど母は永久に覺めませんでした。彼女は幼き兄とたつた二人、無骨な父親の手に抱かれて、詫びしい夜を重ねなければならなくなりました。かうして春は過ぎ夏を迎へ秋を送つて彼女が漸く物心のついた頃は淚多い娘になりました。夕闇ほのかに漂ふ門邊をながして通る巡禮の哀れな歌にひき入れられて、淚ぐましうじつと見送つたことは幾度あつたでせう。その都度妹思ひの兄は痛しく見やつて何かと言葉をかけて慰めるのでした。

□小雲雀のやうな快活な娘

父と兄との慈愛を一身に集めてゐることを知る彼女は、母のなすべき一家の雜務を、自分の身一つに引きうけて、小雲雀のやうな快活を裝つて處理するのでした。而して寂しい中にも幸福な月日は淀みなく流れて行きました。星移り年は變つて彼女は花恥しき乙女となり、天稟の美貌と才智とは長く彼女を世間がそのまゝ見捨てゝおくことを許しません。右から左から、緣談が降るやうに持ちかけられました。

□兄妹家運の挽回を祈る

當時彼女の家は不幸にも家運が傾きかけてゐました。子を思ふ親の情けに、父は早く彼女を幸福ならしむべくどんな緣談にも耳を傾けてゐましたが、彼女は更に意にかけず、只管家運の挽回をのみ祈つてゐるのでした。この可憐な乙女の眞情も遂ひに神に通じなかつたのでせう。兎角する間に父も儚き人となりました。兄妹の悲歎はどんなであつたでせう。互に手をとつて身の不幸をかこち、家運の挽回を計つて父母の靈を慰めやうと堅く〳〵誓ふのでした。

□東都にさすらへ出づ

その頃父はある商賣に手を出してゐましたが、沒すると同時に狡猾な人に胡麻化され、殘されたものとては借財ばかりのやうな狀態に陷つてゐました。兄妹が自分達の運命を開拓しやうとて、僅かの金を懷にして成功を夢見て遙々東京の中央に運ばれて來たのは、夫れから間もな

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

く彼女が二十歳の春でした。砂をつかむほど金が儲かるやうに思つてゐた都も人の生血を吸ふやうな人間で充されてゐるのを見てとつた二人は、美しい夢が再び破れたのです。所持金を使ひ果すと食べることに心を苦しましめねばならない。この不幸な兄と妹とは貧しい木賃宿の一室でヒソ〳〵と或る事業を企て、夫れに要する資本の出所を相談するのでした。然し知人もなく無一物の彼女等にどうして纏つた金が出來ませう。彼女は考へあまつた上句、兄の爲め、一家の爲めに自分の身を六ケ年八百圓の前借で賣つて了ひました。

□昨日に變る今日の身の上

昨日に變る今日の彼女、千本格子の檻の中で、花から花に飛ぶ胡蝶のやうな浮男に顏を曝し、僅かの金で身を委せねばなりませんでした。かうした空氣に染み得ない彼女の神經は痛々しく憔えて、二年目には肋膜に罹つて身の自由を失ひました。天禀の美貌は彼女の不幸を哀れんだのでせう。客の一人が大學病院に入れて眞情を込めた看護をして呉れました。半歳あまりで全快して歸ると、彼女は前にも増した苦痛を覺えるやうになりました。夫れから二年目の寒菊の香の芳ばしい晩秋の夕、墨染の衣に姿を變へた彼女が丸の内の某ホテルに昔情濃やかであつた男を訪ね、兄の行方に就いて相談いたしました。人の善い彼女の兄は妹の身にかへた八百圓の金を受けると惡友に騙されて反つて墮落してゐたのです。『女郎さしてなら話しますが、坊主頭に墨染の法衣をつけ、女僧がしく〳〵と自分のことを言つて珠數を爪繰つてゐられちや、さすがの私も口が利けませんでしたよ』と訪はれた男は友に語つたとか、大學病院を退院してからうなるに至つた彼女の足跡を拾つて見ませう。(艮子)

眞の婦人が男子の傍らに立つ時

(下)

(第五頁より續く)

青年は見えない眼を少女に向けましたが、少女の腕がその腰をさゝえ、手が握つたと同時に、憔えは止み、肩は後ろに引かれて、幼兒のやうな恐れは止んで、再び勇士の姿に立ち歸りました。彼れが野戰病院の苦悶の日にも、暗を辿つて來た長い道中も、たゞ渇して居つたのは婦人の一と觸れ一其の手と勵ましの言葉でありました。彼れは今堂々と列車の方に進みながらも、絶えず少女の顏を見つめる如くして微笑ました。

やがて列車に近づくと、少女は手を離しました青年は感謝に充ち滿ちた面をあげて、「どうぞお名前をお聞かせ下さい」と申しますと「私はアドリーナと申します曹長殿」と答へた聲や態度には少しの諂諛ひもなく恰も上官の前に立つ兵士の如く優しい中にも確乎として居りました彼れは手を伸し、少女の肩を取り、かすつた聲で「さようなら」と云つて接吻しやうとすると、女王の如くに立ちながら、田舍少女は直ちに身を引いて、目には一ぱいの涙を湛へ、暫らくは口もきけませんでした。そして憔えつゝ、しかも毅然と「お免し下さい、」と申し兩手を胸に組んでつくゞと立つた樣は、ジャンダークが使命を感じた時の如くでありました。眞の婦人が現はれて、男子の傍らに立つ時には、相共に行くべき道を見出し、恐ろしい暗黑は消え去るであらうといふ一つの表象を見るやうに覺えます。

(近着のザ、ウーマンス、ジョーナル、より)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

滿州名物（二）

在大連　臼井生

口二十錢の御馬車

人力車も總て支那人にて、近頃母國を初めて見て來た滿州に生れ育ちし一小學生が、日本では何うして日本人が俥を曳くのかと其母に質問いたせし由にても此間の消息を知るべくと存候。此支那車夫は頗る間の拔けた格好をいたし居り內地の兄い連の如くいなせなものには候はねど、粗衣粗食して勞働を厭はぬ支那人の事なれば、勞銀は極て低廉にて東京ならば二十錢と思ふ處を五錢與へれば「ホ」(宜しい)と申して悅び走り候。されば當地在住の奥樣達は一寸の外出にも俥を走らせ居候が殊に笑止なるは前垂かけし女中さんが車上に「車や」と呼棄てにいたし乍ら、買物やら使などに出て行くを見受けることに候。かく人力俥賃低廉なるのみならず、馬車賃も滅法安く廿錢を懐性にせば二頭立の御馬車の主人公らしき顔も出來る程に候。尤も安いものに錄なものは無之、穢い事は矢張支那式に候、のみならず二頭立てのお馬も驢馬の如く小さな奴にて、其步調もガタバシヤとして品よきものには御座無く候。寄席や低級芝居見物の連中にも此馬車を驅つて堂々と乘込む事、此處ならでは見られぬ圖ならんかと思はれ候。

口關西式の日本語

大連はまた大阪以西の日本語が覇をなし、東京關東方面の言葉は衆寡敵せぬ樣見受けられ候。「ソヤオマヘンカ」「ソウダッセ」式が七八分を占め居るもの丶如く候。何うしても關西地方の人々の方が殖民的性質を多量に有するものらしなど愚考いたし候。尤も長崎邊の娘は東京へゆく事、外國へ赴くが如く心得居り乍ら上海へならば隣りへゆく位に思ひ居るなど申す事聞及び候が、一般に九州あたりの日本人は滿州臺灣などを、東京邊の人々の思ふ如く考へ居らぬ樣につき、地理上必然の結果ならんかとも被存候。

口老兒の彌次運動

最後に在滿州、邦人の遊樂は何れに在るかを申上可く候、對岸の青島には獨乙人の植樹せる櫻花なか／＼美しさ報せられ候が、滿州の地には未だ櫻の名所は無之樣に候。只滿州は梨の名產地丈ありて目下南滿の地は梨花咲誇り居り、桃花も所々に散見いたし候。されば此頃は新聞社の主催にて熊岳城の梨花見物團など組織され、却々の人氣を呼び居る樣子に候。さあれ、內地に見る如き花見の能ぬ事、當分在滿邦人の憾ならんかと存られ候。されど滿鐵初め獨身者の社員多き殖民地の事なれば野球、庭球、ボート競爭等運動は仲々盛んらしく候。本月七日の日曜日にも滿鐵年中行事の一たる大運動會大連西公園に於て開催せられ候が、老兒の彌次的運動と其れを見物する男女の多きとは、內地でも一寸見られぬ處かと存候。此一日の運動會の散財が金五圓と傳へらる丶の一事に徵しても其盛況偲はるべくと存候。之れ敢て小生が滿州名物の中に推薦いたす所以に御座候。

* * * *

以上滿洲名物秩序も無く申述候が、當地の生活振りや婦人子供氣質等は追々見聞を廣めたる上にて御報いたす可く候。（五月十日夜記）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

名士と其の母（十二）

文學博士　三宅雄次郎氏

櫻草の花の淡く桃色に匂ふほの暗き室にて、花圃女史は夫君に代つて靜かに語られる――

口新らしい聰明な女

雄次郎の父は本多氏（前田藩の分れ）藩醫で名を立軒と呼び、醫に漢洋なし、と言つて彼我の別なくその長所をとつて廣く研究した人、夫れを内に助けた母は前田家の藩醫黑川良安の妹で、十八の歲に嫁して來られたやうに聞いて居ります。生涯因習的氣分に捕はれる事なく、絕えず新らしいことに眼を着ける聰明な女でした。私が知るやうになつたのはもう五十路を越えるやうな年頃でございましたけれど、新聞などを御覽になるとまづ最初に一面を擴げ、井上がどうの、大隈がどうの、と言つて三面などはてんで相手にされない有樣でした。お名は瀧井と申します。

口淡泊な明るい性

母は物事にこせづかない、氣の大きい辯舌爽やかな、男勝りの氣象でした。從つて金遣ひも荒らい方で、若い時には書生達を相手にしてお座敷などで角力をとり勝負を競つてやんやと言はせたほど淡泊な、明るい方でありました。興の乘るまゝに時に端唄などを口ずさまれる事もありましたが、小供の敎育は嚴格で、殊に雄次郎の兄の沒後、その子供方の養育には一方ならず腐心し、故あつて實母に別れたので日夜實母に代つて他目にも痛ましい位ゐに世話し、寂しき夜のつれ〴〵に出もせぬ乳房を添乳された爲めに、大きく腫れて遂に切開された事さへございます。七十一歲で一方の眼が見えなくなり、翌年又一方の眼を失はれて兩眼全く失明し、味氣ない月日のもとに五年前七十九歲で逝かれました。

口失明の後

失明してから後の母は何となく不安を覺えられたと見えまして　私の事を母さん〳〵と呼び、私の聲がすると、そら母さんの聲が聞えると言つて喜び、聲がしないと家中を搜させると言ふやうな有樣でした。時には聲だけでは滿足が出來ず、私の顏や體を觸つて見て、今日は肥つてゐるやうだと言つて喜び、今日は少し瘦せてゐるやうだと言つて心配したりして居られました。子供や孫達が割合に揃つて頭が宜しいのも、かうした聰明な父と母との系統によるだらうと思ひます。母の明るい淡泊した氣質は、何時も一家の中を明るくして居りました。

夏

安中花子

青草に身を横たへてはてもなき空仰ぐ日の若き嬉しさ。
おもひでは四年の昔高原の夏の夕野にふと逢ひし人。
夕されば月見草咲く野に出でゝ一の星にぞ君を願ぎつる。
ほろ〳〵とこぼれし花に霧降りぬ涙ぐましき高原の宵。
美しき異國の人の戀がたり聽く夕暮をほとゝぎすなく。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

病難錄

（三）

てい子

憂苦

口入院の翌日うけた最初の診察で左の腎臟の惡い事丈けわかつた、右の良惡は不明だつた、片方丈け惡いのなら手術に依つて癒やさる丶望みがある、もし兩方惡いとすれば自然が運びゆく終りの日を靜かに待つよりほか仕方がない。どんな場合にも騷がしい感情を見せた事のない人は病院の床に臥して、生死の間に彷徨しながらも心憎いほど平靜だつた、死を强く意識して殘る生涯――よし一年でも一月でも一日でも――を神意に適ふやうに送るならば、あやふやな狀態で長い生命を保つよりも意義が深い、假令再び活動の生活に歸へり得なくとも祈禱の生活は最後の瞬間までもつゞけられる、といふ信念の上に病人は立つてゐた。

口「自分の肉體のどの部分もが衰へて毀れかけてるように思へる、惰弱な腐れたような自己の反映が、家の中のそちこちにころ〳〵轉げてゐるのを眺める心細さ……」と六月終りの日の感想の端に記してある。その頃から病ひの手は私の上にも伸びてゐたらしかつた、發熱の晝夜がつゞくので麴町のS博士の自宅で診察を請ふたある夜、軀の安靜と病氣の性質に就てきびしい注意を與へられた、此の時も私には豫期したものに出會つたような驚きしかなかつた、唯病氣が亢じた時周圍のものに與ふる困惑を思ふて、云ひがたい心苦しさを覺えた、こんな風で病院訪問の日も少くなつた、終日は橫臥のまゝ暮れる事もあつた「病氣に負けてはならない、私は立派に病氣を司配してゆく」と力みながらも、抗しがたい疲れに惱やまされた。病氣そのものに對する憂慮よりも、病氣が主になつて起る副産問題は煩はしく複雜してゐた、内面的に外面的に區域も擴ろがつた。

口今私はその頃の自分を顧て涙ぐましい哀れを感ずる、信仰的に悟つたような半面には人間――修練の足りない幼稚な――としてのあらゆる悶えが蹲まつてゐた、ある時はさびしかつた、惱やましかつた、自分が可愛そうでならなかつた、孤獨だ、たゞ自分のみが自分を知る、これが人間のほんとうの姿だと病的な歎きに浸つた。暖い人の心に走つて、思ふさまその胸に嗚咽して見たいような事もあつた、ある時は病氣なぞどうでもよかつた、死も問題ではなかつた、たゞ自分の全生活を燃燒しつくすような力と愛が自分を捕へて呉れる事を望んだ「萬軍のエホバよ、なんぢの帷幄はいかに愛すべきかな、わが靈魂はたへいるばかりにエホバの大庭をしたひ、わが心わが身は活ける神にむかひて呼ふ」と昔の詩人が神に向つてさゝげた憧憬の歌は、直ちに自分の祈りであつた。

口「神よなんぢの大路をわれに示し、なんぢの徑をわれに敎へたまへ」私の心が風に渦まかれた煙のように混沌としてゐる時、嵐の中の雲のように浮動してゐる時、祈りはその一語でつきてゐた。感情の上の波瀾、縺れ、動搖、まるで爭亂の巷のような一面が、自分の内にかくれてゐる事を誰が知ろう」とある時の日記に書いた。

十

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

弓術の奨勵

婦人の體力養成に

斬　雲

□大根は人参にならぬ

婦人の肉體が、男の樣に筋張つた節立つたものになつたら、嘸ぞ興覺める事でせう。然う考へると、滅多に婦人の運動も奬勵されぬもの、樣にも思はれますが併し婦人の體質は、男と違つて、幾ら運動しても、大根は遂に人参にならないのです。百姓漁夫生活をする婦に見ても矢張り柔かい筋肉を有つて居ます、で、婦人は體力養成の爲めに十分な運動をして決して肉體美を損する憂はないのです

□深窓の佳人式は通用せぬ

處で、今日中流以上の婦人は甚だしく體力不足です、好い加減肥つて居る樣で甚だしい見かけ倒しです、一寸打つたら紫になる。歩行に男の五割餘計な時間を要する、概して云ふと、男の半分しか力量が無いのです。後左右に侍く腰元が附いて居る深窓の佳人式はモウ行はれません。婦人はモッと〳〵體力を養成しなくてはなりません。

□荒い立廻りは駄目

そこで體力養成の方法如何と云ふ問題になります。家庭に於ける拭き掃除は、適宜な運動ですが、帚を手にするのでは積極的に體力を養成する事は出來ません婦人は先天的に男子と同じ程度の力量を養成し得ない體質を享て居るでせうが併しモッと〳〵力を養成する事は可能です理論上から言へば、體力養成法は幾らも有りますが、婦人に適する運動は殆んどありません。鐵啞鈴は好いのですが、併し面白味がないから、永續きしません。撃劍柔道の樣な武藝は、婦にも必要ですが、婦は荒い事は好みません。此長刀を婦人の武藝とするは昔流の事で、當節長刀は何處の家でも備へて居らず、長くて却て不便です。長刀を稽古する位なら劍術を稽古する方が得です。

□庭球は體力を養はぬ

護身術としてなら、婦人も柔術と三尺位の長さの棒を稽古したらと思ひますが護身術の事は他日に讓り、今日は運動競技の方面で體力養成法を講究するのです庭球は身體を敏活にするには上乘ですが、些と過激で、十六七歳限りのお轉婆遊動です、そして案外體力養成の助けは乏しいのです。

□三ツの體力養成運動

稽古着に着替へたり、種々の道具立ての面倒なものや、脛も露はに大童になる樣な運動は婦人に向きません、モッと節かに落付いたものが欲しいのです。

此の着眼點から考へて私は三ツの案を得ました、第一は前に擧げた鐵啞鈴、第二は綱引き、第三は弓術です、綱引きは大して大童にならずとも出來ます、そして大變體力を養ひます。併し之も餘り興味のあるものではないのです。第三の弓術は、婦人にも適當と思ひます、筒袖を着て居れば、肌を脱ぐ必要はありません又長袖でも、襷掛けでもやれます。子供の玩具でも飛道具が喜ばれるものですから的を射當てると云ふ事は人間を通じて十分興味ある事です。私は婦人の爲めの―男子禁制の弓術場を設けたいと思ふて居ります。弓術なら一生を通じて老人になる迄遣れます、靜的な運動で、體力養成にもなり、且つ腰が据るから、鐵砲射ちの下地になります。弓を曳いた人は、鐵砲も當りが大變早いのです、近頃は村田少將の銃弓など發明されて、弓で鐵砲の下稽古が出來るのです。

十一

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

牛に守してもらつた私

可愛がればこんなに懐く

民子

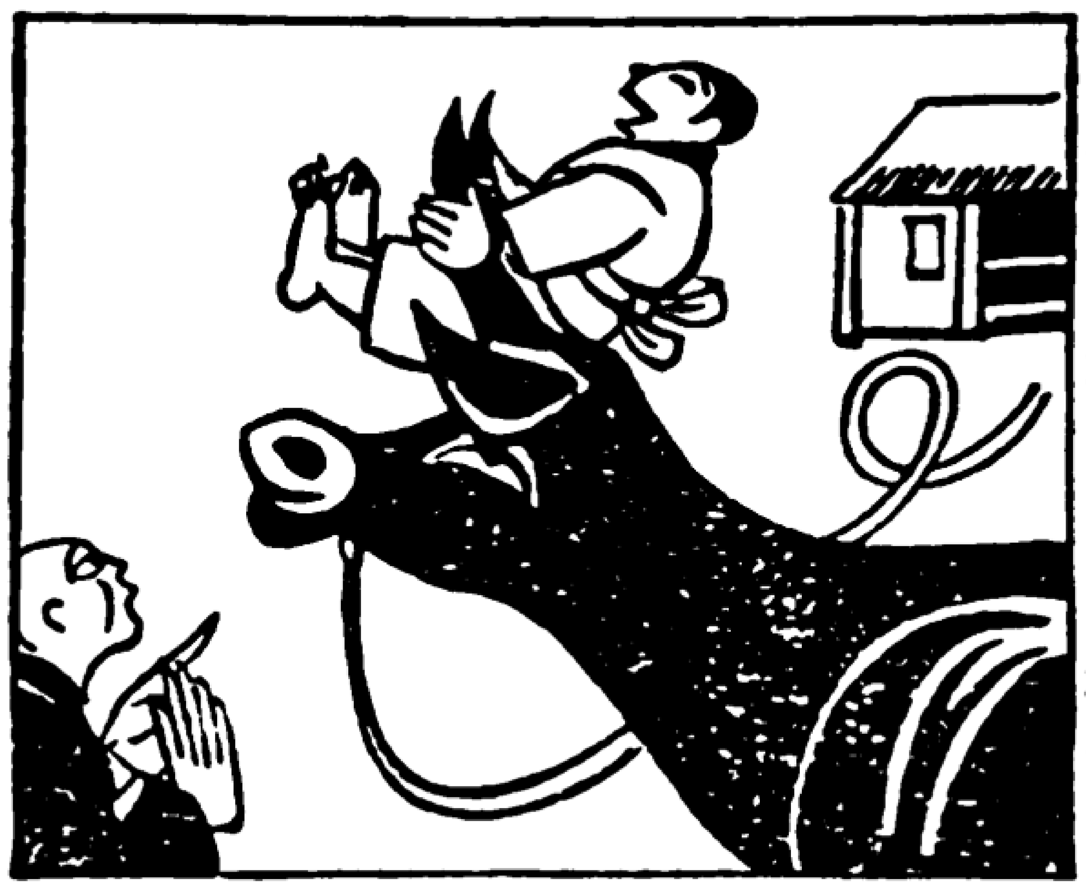
□或る七月の朝

私が五つの年の七月の或る清々しい朝でした。美しく緋縮緬で飾つた産着を着かけ、白と黒との斑の大きな牛が紅白でよつた網で引かれて來ました。柔和な顔に細い眼を瞬いて絶えず口を動かしてゐる容子は可愛いゝと思ひましたが、ドッシリと太つたその大きな體は恐ろしいやうにも感じました。けれどその牛と親しめるやうになつたのは、夫れから間もない事でした。

『さア牛が草が食べたいつて呼んでゐますよ。』とかう母に言はれると、如何に眠い朝でも私は跳ね起きて下男が刈つて與れた水々しい青草を厩の中に投げ入れて遣ります。

□牛の挨拶

私の足音を聞きつけると牛は入口の格子戸の近くに歩み出て、フーと一つ大きな息をして私に朝の挨拶をしながら、ムシャ〳〵と旨しさうに食べます。もつと欲しいとでも言ふやうに首を上げて私を見上げる時、格子戸の間からそつと手を差し込んで牛の頭を撫でゝ遣ると心地よさゝうに眼をつぶります、私が母家の方へ歸つて行くと、後から又フーと挨拶の息を一つ送つてコロリと蹲る。私は夫れが無性に嬉しく可愛くなるのでした。



□小さな手で乳を搾る

牛は間もなく子を産みました。子を産んでからは一層優しくなりました。私が厩へ行くと角で入口の戸をコツ〳〵と突きます。爪立ちして戸を開けて遣ると私の小さい手に鼻の先きをすりつけるので綱を結んでやると、スタ〳〵と庭へ歩み出る。私はその都度小さいコップにお乳を搾つて飲んだものでした。乳の搾り方が下手だと言つて下男達が近寄つて乳房に手をかけると、牛はきつと暴れて所嫌はず蹴散らすので私以外に誰れも乳房に

十二

三十萬圓の口腔衛生費

市費で口腔衛生をやつて居る
一度切りに捨てる紙のコップ
青色で全部を塗つた治療室

米國各地の口腔衛生狀態を視察して歸朝した中原市之助氏が日本齒科醫學會で講演された中に『米國の各市が市の事業として口腔衛生をやつて居ることは隨分盛んなもので、その爲か胃腸病院などは彼地に存在しない、或る停車場の水呑は全部ガラスでなく、簡單な紙製のコップで、一度切りで棄てゝ仕舞ふやうになつて居る、又或る市の口腔治療室の壁の色は眼科醫、美術家、齒科醫の共同研究に成つた青味がゝつたもので、患者の心を慰めんとしてある。紐育市などでは市費として市に三十萬圓の口腔衛生費を支出して居る』と云はれた。我國には未だ彼地の如き施設を行つて居る都市は無いが、併し最新の科學を應用し、二十餘種の貴重原料を配合して製出された理想の齒磨日本名物クラブ齒磨があるので、口腔の衛生は最も完全に確保されて居る事は我國口腔學上の一大發明である。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

近寄る者はない。母達は小さい私の大膽な行爲に驚きの眼を見張つてゐたが、牛が私に慣れ切つてゐるので安心してゐました。

口角の間に挾んで

或る日の事です。私が何時ものやうに綱を持つて庭へ出ると、牛はノソリ〳〵歩んでゐましたが、フト私の腰を二本の曲つた角の間に挾んで上へ差し上げました。急を告げる下男の聲で奥から飛び出した父や母や兄達はどうなる事かと顔色を失つて見てゐます。牛は其樣事に頓着なく、静かに私を上へ上げたり下へ下げたり五六度も繰り返すと、そつと土の上に下すのでした。私を遊ばせて呉れる爲めだつたのです。今あの牛は何處にゐるでせう。夫れから四五年間は無二の友になつて度々私をさうして遊ばせて呉れましたが……。

金魚の飼方（四）

千葉晩香

口入梅頃になりますと、雨天勝ですから、其時には金魚は一般に瘠せた樣に見えます。其瘠せた樣に見えるからとて驚きまして、餌を與へますには及びません。此天候の變つて居る時に矢鱈に餌養をするが爲に、却つてアタラ仔魚を殺す樣な事があります。その儘にして置いても快晴になりますと、金魚は次第に太ります。快晴になつたなら又々水換をして、餌食をさすと魚は見る〳〵太ります。

口此頃になりますと、度々の餌食をするが故に、水は大變汚れますのです。からして三四日毎に水換をするのです。若し餘まり天候が暑くなりましたならば、簾の樣なもので其泉水なり池なりに幾分の日蔭の場所を設けて、彼等の涼み場所を拵へませんと、折角餌食とした、糸蚯蚓が、池水及泉水の水が熱くなつた爲めに、皆死んで仕舞つたり、又は水の温度が急變する爲に、アタラ金魚が一時に死亡する樣な事があります。

口子供が食傷する樣に、金魚の子供も又食傷する事がありますのです。からして糸蚯蚓など一時に澤山與ふるよりも、少し控へ目に與ふがよいのです。食傷の爲め斃れる金魚が澤山あります。ソレは大に注意を要するのです。

■醫師の推奬め

齒の良くなる理想の齒磨
生地の白なる理想の白粉

●クラブ齒磨　齒牙の汚きは美容を損する事頗る多し。電車の中などにて妙齢の婦人を見るに、齒の汚き人比較的多きは其の罪を從來齒磨の多く粗惡なりしに歸せざるを得ず、一度歐米に遊びし人は、彼の地の精良なる齒磨を使用し、歸朝して吾が國の齒磨の粗惡なるに驚く事多し併しクラブ齒磨は、歐米の善良なる齒磨に比するも、毫も遜色なき理想的の齒磨なるを以て、吾人は毎に此の齒磨を賞用す。

●クラブ白粉●●●クラブ●●クラブ美の素白粉●●●●　本品も亦衛生的化粧品として聲價あり濃艶清洒自在の化粧を爲し得べし。

以上は羽太ドクトルの主幹せらるる衛生世界四月號に紹介推奬せられたる所醫師の責任ある推奬の言として茲に轉載す。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

壹圓で四人のお客を招く時

手輕な洋食にて

櫻井ちか子

□献立と代價見積

一、スープ　　鷄肉胴殼三つ九錢

二、ビーフテーキ　　牛肉一斤五十錢

三、馬鈴薯の小蒸し　　五錢

四、キャベジサラド　　キャベジ四錢サラドのつゆ六錢

五、菓子白雪　　玉子三つ九錢、牛乳一合四錢砂糖四半斤五錢コンスターチ二錢

六、水菓子夏蜜柑　　二個六錢

□料理法

▽スープ　胴殼三つの中に六合の水を入れ、文火で一時間位煮て漉し、鹽と胡椒にて味をつけます。

▽ビーフテーキ　一斤の肉を四つに切れば五分位の厚さになります。これに鹽と胡椒をふりかけ、バタをフライ鍋に溶かし、極く熱くなつた時、身をつゝかぬやうに裏表、色のつく迄燒きます。燒き上つたらバタを少しのせて皿に盛つて出しますと、そのバタは臺所から座敷に行く迄に溶けて丁度よくなります。

△馬鈴薯小蒸し　馬鈴薯の皮を剝き、適宜に切り、一時間以上水に漬けて置き、軟らかになる迄茹で、水を切つてバラバラと鹽をふりかけ、杓子にて攪き交せて粉がふくやうにして溫い中に出します。

△キャベジサラド　キャベジの上皮をさり、軟かい處を一分位に切り、三摑み位皿に入れ、別に鍋の中に辛子茶匙一杯、鹽一杯、砂糖茶匙二杯、胡椒少量を加へ匙にて交せ合せて、その中に玉子一個を入れてよく交せ合して、酢大匙四杯とバタ茶匙一杯とを入れ、火にかけて攪き交せながら煮て、玉子の煮えた頃、前のキャベジにかけて暫くおいて一體に攪き交せ、冷えてから食べます。

△白雪　本誌第十八號「端午の節句菓子」に委しく掲げましたから、參照してお作り下さい。

△夏みかん　半分に切り、種子を取り、先きの尖つたナイフを、內皮と身との間に萬遍なく入れて、身は菊のやうな形のくづれぬやうに、內の白皮を芯の處から拔き取ります。飾りとして周圍の皮にぎざぎざを入れてもよろしい。かうして砂糖をかけ、匙を添へて出します。

端錢の貯金が百圓になる

大妻技藝傳習所々長　大妻一惠女史が嘗つて或る人に語つて――私は結婚して以來今日まで、月々月末の計算をすませて圓未滿の端錢と、屑屋に拂つた紙屑と新聞との代金とを必ずないものにして貯蓄することに定めて居ります。端錢と言つては夫の小遣からと私の臺所の費用との僅かな剩餘で、屑代を合はせても二圓に滿たない金でございますけれど、十五年間餘りで、もう四百圓からになつて居ります。收入の幾割を是非貯蓄せよなど、經濟學上から割り出したやうな議論を聞くと何となく重苦しく感じられて餘程收入の多い人でなければ手出しのならぬ事のやうに思はれますが、端錢だけをないものにする私のやうな仕方なら大方の家庭で充分實行の出來る事でせう。重荷を感じながら貯蓄するより、少しづゝでも氣持ちよく貯蓄してまづ最初に貯蓄の興味を養ふ方が宜しいことではないかと思ひます。（三々）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

世界史お伽噺

天下最不幸の人

（二）

新雲

アチス王子が鋭く問ひ詰めましたので、クリーサス王様も今は誤魔化しを言つては居られません。依て先夜の夢の事を物語り、王子の手には今後刄を觸れさせないつもりで居る事を告げました。

アチスは夫を聞いて「父上夫は違ひます、私は猪を退治に行くのです、猪には牙こそあれ、刄がありません。私は是非此の猪を退治に行きます」と強ての願ひ、クリーサス王様も遂う承認しましたが、扨て王子には誰人か確かとした附添人を欲しいと考へて、アドラスタスと云ふ人を見立てました。

此のアドラスタスと云ふは、クリーサス王様の領分の隣國に當るフリジヤの王子ですが、ふとした事から自分の弟と喧嘩をして、腹立まぎれに之を斬殺しました、で自分の國にも居られず、逃げてクリーサス王様の處へ來て救ひを求めたのです。根が善人ですが、正直一圖の氣質故、弟が無法な事をしたので、赫となつて之を斬殺したので、大變後悔して居ました。併し、武藝は出來る、力は強い、一方の大將として何不足ない人間ですから、クリーサス王様は此の人なれば大丈夫と見込んで、我が王子アチスの附添人にしました。

そこでアチス王子は甲斐々々しく甲冑を着け、數多の兵士を引連れ猪退治に參りました。村人は大喜びで總出になり、山を分け猪を狩り出しました。見ると、牛位の大きさで牙を露き出し、咆えたけつて來る勢は、並大抵の者には迚も退治が出來ない代物です。併しアチス王子は少しも恐れず、附添人のアドラスタスも久々で男武を振ふ機會を得たのを喜び、二人は眞先きに進んで猪を追ひ廻はし、大勢四方から取捲いて皆な〳〵手にせる投槍を投げ付けました。

處が前後クリーサス王様の夢は、正夢であつたと見え、今アドラスタスが焦つて投げ付けた槍が猪の頭上を越して反對の側に居るアチス王子の胸をグサリと突き刺しました。武勇優れた腕前ですから堪りません、アチス王子はうんと言つたまゝ、其場に倒れて死んで了ひました。アドラスタスは仰天しましたが、モウ追付きません、アチス王子の死骸を盾へ載せて、クリーサス王様の處へ運んで參り「自分の粗忽、辯解の辭もないから、此上は自分を殺して下さい」と申しました。

クリーサス王様は最愛の王子の死骸を眺めて、一時は正體もなく歎きましたが、之は全く思ひがけぬ災難で、アドスタスに毛頭惡い心がないのだから、其罪を許しました。然るにアドラスタスは、二度迄も人を殺した事を悔恨して數日後アチスの墓の前で自殺して果てました。

前日迄天下最も幸福の人と威張つて居たクリーサス王様に、今や大變不幸な人になつたのです。

◉通俗叢書　古今東西の名著二十四種を撰んで、これた平易且つ流暢なる現代文章に書き改め、詳細なる註釋を挾んで繙讀に便にし、卷頭には名畫數葉を挿入して感興を助けてあります、且つ裝釘も美麗ですから、家庭應接間の書架に飾つて適はしいものでせう。凡て會員組織、一ケ月會費金八十錢、詳細は麹町區飯田町通俗教育普及會に申込めば、直ちに規則書を送附する由です。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小説

地下室の窓から（トルストイ作）

（其四）

松本雲舟

七

「あヽ、私の乳は出ないかも知れません今朝から何にも喰べませんから」と女は答へたが、それでも赤坊に乳を飲せ初めた。

　マーチンは承知しましたといふやうに首肯いて食卓の上にパンと皿を載せて、それからストーブの戸を開けてそこから肉汁を取出して、皿に注いで、又お粥の鍋を引き出した。ところでお粥はまだ煮えてゐなかつたので、食卓に布をかけてその上に取り敢へず肉汁だけを置いた。

「さあ、そこで御食り下さい、おかみさん」とマーチンは言つた。「私が赤ちやんを抱いてゐてあげますから。私も小さい奴がありましたものですから、子供のあやし方を能く知つてゐます」

　女が食卓の側へ行つて坐つたので、マーチンは赤坊を抱いて寢臺に腰をかけた一二度舌打ちをして見せたが、歯がないので、誠に無狀であつた。そのために赤坊は泣き出した。で、自分の指を赤坊の口の方へ持つて行つてあちこち動かして見た。その指は仕事で黑くなつてゐる上に、靴に用ゆる蠟で硬張つてゐたので、赤坊の口には觸らないやうにした。赤坊はその指を見詰めて靜かになつた。そして笑ひ出した。マーチンはそれを見て嬉しくなつた。やがて女は食事を終へて、問はず語りに、自分はどういふ者で、何處へゆかうとしてゐるのですと話し始めた。

「私は軍人の家内でございますが、私の夫は八ヶ月ばかり前に遠い任地に參りました切り、何んの消息もございません。初め私は料理人のやうな仕事に就きましたが、この子が生れましたものですからそんな足手まどひがあつてはと言つて、私は追ひ出されてしまひました。それが三月ばかり前の事でして、それから何んの仕事も致さずに、持つてゐる物を皆んな費つてしまひましたが、乳母にでもなりたいと思ひましたが、誰れも私があまり痩せてゐると言つて、雇つて下さいません。私のお祖母さんが奉公した事がある商店の奥樣がありますので、私はそこへ頼みに參りました。その奥樣は私を雇つて下さる約束をして下すつたし、私も仕つて下さるものと思つて參りました所が私が今日行つて見ますと、來週又來てくれと言ふことでした。奥樣のお住居は此處から遠い所ですので、私は疲れてしまひました。この子も何にも喰べませんので、ひもじかつたでせう。ざうも、御親切樣に、有難うございました。お蔭樣で助かりましたが、これも神さまの御めぐみです。もう少しで倒れてしまう所でした」

　マーチンは嘆息をついて、「で、着てゐなさる物もお寒いやうですな」

「えい」と女は答へた。「暖かい衣物を着たいにも、私は昨日私の肩掛を僅か二十錢で質に入れてしまひました程ですので」

八

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女は寝臺の側へ來て赤坊を抱へたのでマーチンは起ち上つて、戸棚の側へ行つて、あちこち探してゐたが、やがて古い毛の襯衣を取り出して來た。

「これは古い汚ない物ですが、どうぞ使つて下さい」

女は毛の襯衣を眺めて、それから老人を眺めた。やがてその襯衣を手に取つてわつと泣き出した。マーチンは又向き直つて、寝臺の下に入り込んだが、そこから箱を取り出して暫らくの間その中を掻き廻はして、それから女の前へ來て坐つた。

女はマーチンに向つて、「お祖父さま、基督さまの御名にて御禮を申上げます。あなたの窓の側へ私を送つて下すつたのは確かに基督さまです。でもないと、私はこの子を寒さに凍え殺すところでした。私が出かけました時には、陽氣が暖かでした。でも今は寒さに凍えるやうになりました。基督さまはあなたが窓の側におゐでになるやうにしておいて下さいましたので、あなたは私のこの憐れな狀を見て、氣の毒な心を起して下さいましたのですね」

マーチンは笑つて態う言つた。「基督は實際私を窓の側へ居らせて下すつたのです。でも、おかみさん、私が窓を覗いてゐましたには、他に目的がありましたのです」

やがてマーチンは軍人の妻である此女に自分の見た異象のことを話した。基督が今日自分を訪ねて下さるといふ前知らせの聲を聞いたことを打ち明けた。

「それはまあ、目出たい事です」と女は起ち上つて、襯衣を取つて、それを赤坊に着せて、もう一度御禮の言葉を述べた

「基督の御名に於て、これも持つておゐでなさい」とマーチンは言ひながら、二十錢銀貨を一つ、肩かけを買ふために女に渡した。女は十字を切つた。マーチンもさうした。やがて戸を開けてやると女は出て行つた。

女が行つてしまつた後で、マーチンは肉汁を少し飲んで、器物を又洗つて、仕事場に歸つた。そして始終窓に眼をつけて、影がするたびに、通行する人を見上げた。知つてゐる人も通るし、知らぬ人も通つたが、まだ特に此人はと思ふ人は來なかつた。

突然マーチンの眼についた者がある。それは彼の窓の反對の方に、一人の行商してゐる婆さんが林檎の籠を持つて立ち留つた。林檎が少ししか殘つてゐない所を見ると、大抵賣つてしまつたのであらう肩には木片を一束載せてゐる。多分新しい建築物の近所で集めて、家へ持つて歸るのであらう。その肩はその重味に痛いものだから、他の方の肩へ擔ぎなほさうとしてゐるのだ。婆さんは林檎の籠を郵便箱の上に載せて、舗石の上に木片をおろして、その束を振ひ初めた。さうしてゐる間に、一人のぼろ〳〵の帽子を被つた少年が何處からか現はれて、籠から林檎を一つ取つて、逃げて行かうとしたところで婆さんは油斷がないので、向き返つて、少年の袖をつかまへた。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

◉**御手飼の蠶一千匹** 宮中紅葉山に設けられてゐる 皇后陛下の御養蠶室は近世的の設備のものと素人的のとの二種あつて、其處からは毎年六石餘りの繭がとれ、その中約一千匹は殆ど陛下自ら御世話遊ばされてゐます。目下四齡と、五齡とださうですが、去る二十日地方官が河野農相と共に拜觀の榮を得、その有樣を見て感歎し奉りました。

◉**將校婦人會行啓** 十六日午後二時皇后陛下には築地水交社に催せる陸海軍將校婦人會に行啓、會長黑木大將夫人の式辭ありて後 陛下には玉音麗はしく令辭を賜ひ、御少憩の後餘興を御覽ありて、五時過御機嫌麗しく還啓遊ばされました。

◉**愛國婦人會の知事招待會** 目下出京中なる各地方長官を、十七日午後五時築地靜養軒に招いて晩餐會を開き、閑院總裁宮妃殿下を初め 東伏見宮、久邇宮、伏見若宮三妃殿下にも台臨遊ばされました。なほ廿四日には第十五回總會を日比谷公園に開き、皇后陛下の行啓を仰ぐ筈。

◉**大日本婦人教育會** 大日本婦人教育會にては二十日午後二時より高輪なる 毛利公爵邸に於て總會を開き、總裁閑院宮妃知惠子殿下並に名譽會員東伏見宮、伏見若宮、久邇宮各妃殿下御台臨、會長毛利公母堂に代り贊助員毛利五郎男の挨拶に次で、總裁宮殿下には令旨を賜ひ、次で毛利會長の答辭あり、了つて毛利男の會務報告、澁澤男の婦人教育に關する講演あり、次で各種の餘興等ありて歡湧くが如く午後五時頃散會しました。

◉**新任露國大使** 露國貴族の三男に生れ、昨春迄伊國の駐劄大使として快腕を揮ひし、ワシーリー、クルペンスキー氏は二十二日夜駐日露大使として入京されました。大使は本年四十八歳にして、なほ獨身生活を續けて居らるゝを見ても、その抱負の尋常ならざるを語つて居ります。

◉**爆彈事件公判** 去る二十二日東京地方裁判所で爆彈事件の公判がありました。主謀福田和五郎同犯者下村、鬼倉、福田等この空前の事件を隱謀した人々は各々沈痛に、大隈伯達を殪した後山縣元帥、三島子爵、一木内相をも殪して世界を廓清する意なりしと陳述したさうです。

◉**講和斡旋の機尚早し** 米國大統領は過般羅馬法王より送られたる書翰に對し、返信準備中にして其内容明らかならざるも、講和斡旋に手を染むるは、時機尙早きを告げんとするものゝ如しと。

◉**第二の排日案** 桑港市會議員ガラガル氏（勞働黨）は洗濯業鑑札料四十圓を千弗を引上ぐべしとの議案を提出しました。同案は資本家を倒す方針で、邦人同業者の大部分は小資本家なれば、打擊を蒙る事も多く、反對運動を起して居ります。

◉**新嘉坡の賤業者撲滅** 英國政府では同所の賤業婦を六月七日限り、本國に送還する事に決し、新たに來る日本人の賤業婦に對しては、七月限り絕對に禁止する事となりました。現に八百名も居る日本の賤業婦に對しては、孰れ遠からず解散させる意嚮たるに相違ありません。

◉**改正桝** 十九日の官報紙上、度量衡法が農商務省で發布されました。其の改正の大要は、一定の規定に從つて、其の販賣所の範圍を擴める事、桝はズルの出來ぬやう椹を廢して、重き木材を用ひ、同時に二升以上の角桝をも廢する事。なほ瓦斯メートル檢定を新たに加へ、現在取付けてあるものは六ケ年猶豫し、今後は有効期間を五ケ年として一々檢定して、確實便宜を計る由です。

◉**美しい慈善市** 白耨塞軍救濟慈善市は十八、十九の兩日に亘りて、三越の三階に開かれ、華やかに着飾つた外國婦人の中に、寺島、三井、松平、小笠原、津輕、加藤の各名流夫人が應援して、賑々しく客を迎へて居りました。

◉**交換手の遠足** 市内各交換局の交換手五百餘名は二十一日午前九時 兩國驛發の列車歸 千葉縣稻毛へ遠足會を催し、一日の歡を盡して夕方歸途につきました。

◉**令女教會の總會** 築地本願寺内令女教會では、二十二日午後一時芝高輪毛利公爵邸にて二十八回總會を開きました。會長毛利公母堂、大谷紝子夫人、九條武子夫人の祝辭、挨拶の後で林講師の法話、千代田女學校生徒一同の唱歌がありまして式終がりますと、來會者は思ひ〳〵に新綠の滴るやうな庭園に設けられた餘興場へ步を運びました。來會者二百名。

◉**女子青年會總會** 廿日午後二時半より神田區北神保町十四同會館に於て、第十回總會を開き、報告に次ぎ、衆議院議長島田三郎氏の講演あり、後茶話會を催し、五時過散會しました。

◉**橫濱浸禮教會婦人會** 五月廿一日午後二時より同市山手七十五番 浸禮教會に於て 公會婦人會を催し、二宮わか子女史の「社會に對する婦人の務」小橋三四子の「わが心の歷史」大江すみ子女史の「主婦の注意すべき四方面」の講話あり、來會者百八十名計り頗る盛會でありました。

◉**婦人之友社の新計畫** 東京府下雜司ヶ谷上り屋敷の同社に於ては擴張五週年記念として、同社構内の運動場を取擴げ、公開の設備をされ、廿八日午前九時より開場式を兼ねて運動會を催す筈、雨天の節は四日に延期、四日も雨天ならば中止の由。

個人消息

△土屋孝子（醫學博士土屋岩保氏夫人） 五月二日女兒を安產せらる。

△富堅眞喜子（大阪愛國婦人會役員） 愛國婦人會總會を兼れ、或る調査を帶びて數日前上京、神田區北神保町女子青年會館に滯在せらる。

△山田邦子 近日某書肆より歌集出版の計畫にて、代々木自宅に引籠りて編纂中。

△矢吹久子（男爵矢吹省三氏母堂） 久しく病氣の處十七日遂に逝去せらる。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

過去帳 我が國陶磁器製作家の第一人にして眞葛燒の祭斗と呼ばれし帝室技藝委員宮川香山翁は二十日午前一時腦溢血にて逝く、享年七十五歳。

●新刊紹介は　紙面の部合で凡て次號に讓りました。

公娼廢止の應援
本社宛寄附の部（一口金五錢）

小林謙吾　小林いゑ　中村あや
平野さゝ（二口）　手束しづ（十口）　飯室いち
宮田節　無名氏（二口）　稻垣みら
麻生永　金子ミチ　岡さゝ
出野柳（二口）　山田三留　山名恭三
雨森誠　伊藤鈴　渡邊こう
寺村清水　吉村里　安仲してな
倉持まつ　內田敏　石塚みち
部丸淑　寺田文　梶田
日本女子大學松柏寮生（十二口）
小計五十一口、累計四百四十一口、

●書生に雇はれたし　某神學生で食料丈け不足して居る者が、市內の成るべく信者の家に雇はれたいと申して居ります。（記者）

編輯室より

▲過ぐる日曜日には横濱山手浸禮教會のお招きを受けて、未熟な話をお聽かせしました。その節多數の新らしい友を得ましたが、多くの御婦人方には樣々な御意見や御經驗を有へながら、發表の機關なく、空しく其の持ち腐りになりて終ふのを見ました。▲本誌は創刊當時から成るべくさういふ御婦人方に自由に御投稿なさる便を計りたいと「婦人の聲」といふ欄を設けて居りました。▲次號からは再びその欄を賑やかしく致したいと存じます。皆樣のありの儘の感想、意見、經驗等を御投稿下さいませ。

人事相談所

口本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有らゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

口本所は絶對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財産調査、男女學生品行調査、裁判上の證據調査等の御依頼に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれには依頼者が至當と想はれる程の低廉なる調査料を申受けます。

口本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい。面會時間は日曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社內（電話番町四五六六番）
人事相談所

婦人週報（每週金曜發行）

定價表
△壹部金五錢（但し郵送料五厘を含む）
△一ケ月（四部又は五部）金貳拾錢
△三ケ月（十三部）金六拾錢△半年（廿六部）金壹圓拾錢△一年金貳圓廿錢

廣告料
△特等（表紙の二、四）金參拾圓
△壹等（表紙の三、白紙前付）金廿五圓
△貳等（色紙の表側）金廿貳圓
△參等（色紙の內側）金貳拾圓

注意
▲御註文に一切前金の事▲郵券代用に必ず一割増の事▲送金の宛名宛は東京市牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座に東京三一六六〇番▲領收證は發送を以て領收書に代ふ

發行編輯兼印刷人　小橋三四子
東京市京橋區銀座四丁目一番地
印刷所　東京支店　福音印刷合資會社
東京市牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地
發行所　婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

合名會社

飯嶋婦人洋服店

男女小兒服裁縫並に附屬品販賣

電話新橋二五一八番

東京市芝區南佐久間町一丁目一番地

六月六日より十日間開催
午前十時より午後二時迄

西洋料理十回講習　壹回實費共金五十錢

この講習會は特に主婦の都合よき時間を計り會費も一回每に定めて出入に便利を計つて置きましたお誘ひ合せ御來會下さいませ

本鄉區彌生町三番地
櫻井女塾
電話下谷六八一五

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

診察毎朝及毎夕但祭日及日曜之他
院長診察　月、金、木午前及(木)午後六時
林、峰間両副長は目下當院に在勤
東京三番町三十番地（市ヶ谷見附内）
電話番町　六二一番

東洋内科醫院

院長　醫學博士　高田畊安

電話ちがさき二番

南湖院

神奈川縣茅ヶ崎海濱（従停車場半里）
河野、高橋両副長は目下當院に在勤
院長診察　土曜日　午後入院診後應需
診察毎朝但祭日及日曜及土曜之他

クリーニング

新調す
外套インバネス（東コート）
ネル・セル・ショール
半襟毛皮等のクリーニング
丁寧親切迅速に致します

は一滴の水を用ゐずして如何なる汚れも殆んど和洋服同様になります

と染色を

○局部シミヌキ
○御一報次第參上
各國大公使館
帝國ホテル御用

日比谷クリーニング商會
日比谷公園停留場際
電話新橋三一〇八

◎産婦人科◎小兒科

宅診午前　往診午後
病室、産室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ

院長　女醫　吉岡彌生

東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地

東京至誠病院

電話番町三三五七

歯科

ドクトル　富田貞一

日本橋區高砂町六
（久松町停留場より西一丁）
電話浪花五四〇五

殺菌と血止めに便利なる

【毒消し筆】

一本金拾錢
送料金貳錢

●毒虫、蚤、蚊にさゝれた所の毒を消しかゆみを去り
●創口の血を止めて其場所を殺菌す
●携帯至便●使用簡便●殆んど永久に用ひられる●是非一本を試みあれ
（注意）參錢郵券四枚封入御注文あれば即時發送す

發賣元　小石川區高田老松町十七　目白藥局
振替東京　三一六九二

産科、婦人科、小兒科

東京府内藤新宿番衆町卅一番地

女醫　井出茂代

電話番町三六七七番

肝油服用者之福音

最新式の軟質膠球劑絶對に臭氣もなく美味に飲めるは此肝油球である

三百球入　弐圓
百球入　七十錢
五十球入　四十錢
送料各八錢

諸大醫の賞讃

肝油球の特効

身體の弱き人
かぜ引き易き人
腺病の人
夜盲の人
冷え性の婦人
肺の悪しき人
貧血にて艶のなき人
油氣の少ない人

發賣元　東京市赤坂區田町五ノ一
工場　東京赤坂新町三ノ三十二
藥劑師　富谷宗吉藥局
電話新橋三百十九番
振替東京七〇八一番

——體力精力増進に今が肝油服用時期——

速成個人教授生徒募集

普通科五十種一ヶ月
高等科五十種二ヶ月
入所入舍隨時

袋物

生花、造花、摘細工、縫細工、綿細工、壜細工、儀式用折紳、水引結方、和洋裁縫、

東京九段靖國神社横

大妻技藝傳習所

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

現代婦人必讀の良書

日本女子商業學校學監 嘉悅孝子著（忍五版）

怒らず働け

婦人處世の道今の過時代より難きはなし家庭、經濟、結婚、職業、交際等につけ現代程中正賢質の指導を要するを切なるはなし本書は著者が多年教育上の實驗より得たる悟道の精髓にして婦人界無比の寶訓たり。

四六判 クロース 美本箱入 定價八十錢 送料八錢

婦人の生涯

高島平三郎著（好評三版）

現代の婦人の生涯ほど複雜で危險で多事多難でそして變化の多い者はない本書は少女より處女となり妻となり母となり老婆となるまで各時期の生活の特色を擧げ共に其く婦人の活動方面を說明し警戒せる良書なり。

四六判 四百五十餘頁 裝幀クロース 箱入 價一圓四十錢 送料十二錢

家庭及家庭教育

高島平三郎著（第四版）

か弱き婦人が母となれば一層強くなる、婦人の眞の光明、眞の莊嚴は母としてのみ現はれる今日の人物養成は學校教育よりは寧ろ家庭教育にあるは言をまたず、家庭必讀の良書たるを信ず。

[illegible] 美本箱入 定價九十五錢 送料八錢

天野藤男著（新刊再版）

田園趣味

花と人生

四季の花卉數百種を擧げ來り著者一流の筆致を以て其の花色形容、口碑傳說、詩歌俳諧、情話等を描寫し、延いて人生と花との關係を闡明したるもの、即ち本書にして全篇趣味の結晶と云ふべき家庭必讀の良著たり。

四六判 三百頁布製 美本箱入 定價一圓二十錢 送料八錢

逸話の泉

高島平三郎著（好評四版）

逸話は人生の大河たる歷史の流れから其の兩岸の磧に打上られた砂金であり明珠であり寶石であり美玉である。本書は歷史の古今に亘りて此の金石珠玉の中から特に精神修養に資すべき三百餘片を親切丁寧に拾集めたり。

四六判四百頁 布製美本箱入 定價一圓 送料八錢

實踐一日一善講話

一日一善著者 山本瀧之助著（最新刊）

本書は先づ「一日一善の發芽」に於て是が來歷を示し次に「一日一善の成長」に於いて五年間に於ける弘布の狀態を明にし「一日一善の根底」に於て根ざす所の深きを說き終に其の成果に於て今日多大なる成績を擧げたるを證す。

[illegible] 定價七十錢 送料八錢

發行所 東京市麴町區平河町五丁目 振替口座東京二〇一九一四番 洛陽堂（電話番町四二五八）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

發行所 東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地 婦人週報社